

第5回在宅医療・介護連携推進事業会議 議事録

日 時 平成30年9月20日(木) 午後1時30分より

会 場 江戸川区医師会館 4階 第3会議室

在宅医療・介護連携推進事業会議 委員長 小川勝

(江戸川区介護保健施設連絡会)

江戸川区歯科医師会 広瀬芳之

江戸川区薬剤師会 大林武史、

東京都医療社会事業協会 藤井かおる

江戸川区ケアマネジャー協会 内藤修、三田友和

東京都看護協会 佐々木誠子

江戸川区訪問介護事業連絡会 江面秀樹

江戸川区地域密着型サービス事業者連絡会 梅澤宗一郎

江戸川区医師会 津田隆

地域保健課長 深井園子、事業者調整係長 本城智也、同主査 大島秀雄

訪問看護ステーション杉浦、医師会事務局：柴、阿部、愛木記

決定事項

- ・ 歯科医師会 11月の在宅医療介護連携研修の講師を広瀬先生から他の先生に変更予定
- ・ 東京都医療社会事業協会の1月の研修の講師を藤井氏(前半)に加え、後半に1名起用予定。
- ・ 次回、ケアマネジャー協会より書式確認のためのアンケートを提出していただく。
- ・ ケアマネジャー協会は薬剤師会へアンケートの生のデータ、またはそれに基づいたメモ等を渡す。
- ・ 歯科医師会担当研修の通知文をアンケートとセットにして送付予定。
- ・ 区民向けシンポジウム参加人数の増減は、事業者調整係まで。10月10日締切。
- ・ 事務局は安保先生と訪問看護師との2月の研修日程をケアマネジャー協会に連絡。
- ・ 区より、11月以降の本会議体でのテーマについて提案。

議題

1. 平成30年度第3回多職種連携報告及び在宅医療介護連携研修一覧について

(内藤) 多職種連携研修の進捗状況を報告します。第3回(8月30日)は、なごみの家より講師を招き、なごみの家の活動内容と役割、今後の取り組みについて研修を行った。アンケート内容によると「研修での一番の気づき」は、なごみの家の活動内容・役割等が理解できました。「自由意見」では、多職種の連携の可能性、介護以外の防災面での課題、各機関との連携などが指摘されました。

「今後受きたいテーマ」では、インフォーマルサポートやバーセルインデックス、重度認知症を含めた精神疾患の対応方法、若年性認知症について詳しく知りたいといった意見がありました。9月21日の第4回研修では「倫理及び法令遵守」で介護福祉ジャーナリストの田中氏に、10月17日の第5回研修は「権利擁護及び虐待」をテーマに安心生活センターの吉田氏。11月27日の第1回在宅医療・介護連携研修では、歯科医師会ご協力の下、「口腔衛生・口腔ケア」をテーマに日本歯科大学教授の菊谷先生と江戸川区歯科医師会の広瀬先生に在宅で困っていること、高齢者の口腔ケアなどをお話し頂く予定です。12月6日は薬剤師会のご協力、大林先生にお願いしております。平成31年1月は東京都医療社会事業協会、2月は訪問看護ステーション連絡会、3月は江戸川区医師会の担当となっております。こちらは会場が3ヶ月前にならないと申込めないという理由から、まだ日にちが決まっておられません。

(広瀬) 11月27日の研修ですが、講師として私ではなく、若手の方に変更しようかと思っています。近日中にご連絡したいと思います。

(小川委員長) わかりました、他に何か。

(藤井) 1月の研修ですが、前半の藤井以外に、後半を若手の方をお願いしたいと思っています。2時間の時間枠をどう使うか考えているところで、単調にならないように分けて行ないたいと思います。

(小川委員長) わかりました。私の方から一つ、ケアマネ協会さんにアンケート用紙の書式を見せてもらいたいと思います。この会議の主旨としては単に研修を行なって報告で終わるのではなく、どういう課題があって、今後どう生かしていくかという所が一つの目標なので、アンケートが重要になってきます。今回の研修のアンケートでは134人から回答がありましたが、「今回の研修での一番の気づきは何でしたか」という項目の88名で3分の1が返ってきてない、この状態をどう考えるかということも考察していかなければいけない。また様々な職種が来ていますが、自由意見も色々ある中で、こういった職種がこういった課題を感じているのか、

というところも挙げていかないと次に繋がらないと思います。今後「多職種連携研修」で受けたテーマについても、アンケートで踏み込んで考察できるような形を、一つの意見が少数の意見なのか、大多数の意見なのかが重要なファクターになりますので、その辺をよろしくお願いします。

(内藤) 確認ですが、次回はとりあえずアンケート用紙だけを持ってくるということでしょうか？

(小川委員長) はい、とりあえずどのような書式、内容なのかを知りたいです。このアンケートで言えば、○を付けるのか、そうでないのか、なぜ数に入っていないのか。アンケートを見ることで考察することが出来、来年度の研修テーマが生まれると思います。職種がわかれば、ケアマネや他の職種の人がこんな意見があり、我々もこういったテーマを考えよう、とフィードバック出来ます。

(大林) 12月の薬剤師会担当の研修内容はまだ決まっていないのですが、先日、江戸川区訪問介護事業者連絡会の研修を訪問介護員、サービス提供責任者、ケアマネジャーを対象に事前にアンケートを取り、それに対するお話をしました。何を聴きたいのか、何を提案すべきなのか、何処が共通の問題点なのかわからないと2時間の研修が勿体無い。まとめたデータではなく生のデータや記録したメモなど事前に頂いて12月にお話したいと思っています。

(内藤) 明日9月21日の研修会のアンケートで12月の研修で何か聞きたいことがありますか？といった項目を入れることが出来ます。入れてみますか？

(大林) はい、幅広く薬剤師に聞きたいことってどんなこと？というようなもので取っていただいて、そこで結果を研修に反映したいです。

(小川委員長) 色々な意見を反映した研修に出来るといいですね。では、次の議題です。

2. 江戸川区委託研修「第1回在宅医療・介護連携研修」の開催について

(広瀬) 今回ケアマネジャー協会に通知のチラシを作成していただきましたが、各団体で通知文とアンケートをセットで用意してはいかがでしょうか？もし一緒に配っていただけるなら近日中にこちらでアンケートを作りたいと思います。「高齢者の口腔ケア」では、誤嚥性肺炎等の予防の面があるのですが、様々な疾病・介護・重症化の予防の効果も高いと菊谷先生も仰っておられるので、その内容を盛りたいと思います。近日中にアンケートと文章の手直しを送ります。

(内藤) わかりました。私のところへ送っていただければ、ケアマネ協会事務局から配布

します。A4が1枚、10月29日位には順次発送予定です。アンケートが先行できれば10月17日に研修があるのでここで事前に配布して、戻ってきたものをそのままお渡しして10月29日のアンケートに反映させることもできます。

(小川委員長) 11月27日、総合文化センターですね。菊谷先生は口腔ケアについての第一人者であり、まさに介護の方の目線でお話いただけます。続きまして、区民向けシンポジウムについてです。

3. 平成30年度在宅医療介護連携推進事業「区民向けシンポジウム」について

(1) 事例説明(スライド原稿)について

(小川委員長) 臼井さんの方から読み上げていただきます。

(臼井) 当日は一之江熟年相談室の小谷野、という職員がケース紹介をさせていただきます。読み上げる内容は配布した資料とは別の文章となっています。

〈ケース紹介〉

(小川委員長) 当日の流れとしては、基調講演のあとケース紹介、休憩を挟んでパネルディスカッションを行なう予定です。後半は自己紹介から入り、各団体の方に一言ずつ意見を聞きながら話を進めたいと思います。この事例に関しては身近な問題を扱うよう複数人で作成しましたが、何かおかしいところなど、お気づきの点がありますか。

(広瀬) この事例ですと、トイレへの歩行移動がやっとなことなので、通院など難しい面があるのではないのでしょうか、訪問診療を受けているに変更したほうがいいのか、

(小川委員長) そういう言い回しを当日行なおうかと思っています。皆さん初めてみるので色々疑問に思いますよね。でもガチガチに作ると皆さん下を向いて話してしまうので。パネリストだけでなく、当日参加される方々からも意見をいただく予定です。時間の関係でどのようになるかわかりませんが、できる限り会場の皆さんが参加できるようにしていきたいです。歯科医師会の方はお話を聞きたいので、前の席でお願いします。また自宅での事例ですので、町会の方々にも声掛けしてみようと思っています。生の声をその場で聞けたらと思います。

(大林) シンポジウムに直接絡む話ではないのですが、要支援1とかでケアマネさんが入っていると介護度1とか2とか出ている、というイメージでサービスの提供を考えたほうがいいのでは、

(臼井) 今回の事例については、以前要支援1の認定を受けていたけれど、今の状況を鑑みると認知症もあるので、おそらく要介護1の認定が出るのではないかという暫定プランでケアマネジャーさんは動かれると思われます。

(小川委員長) 一つの事例でそのように掘り下げて皆さんで考えていけたらいいですね。皆さんの得意分野でのお話を聞きたい部分もありますが、パネリスト同士での情報のやりとりがあってもいいと思います。事例に関してはこの辺で、チラシに関しては区からお願いします。

(2) チラシについて

(本城) 今回のものは主に連携会議体の委員とその関係の方々向けのチラシとなります。区民の方、民生委員の方、町会の方々には別途配布予定です。一般区民の募集は50名程を想定しておりますが、先着何名などを明記したチラシを用意する予定です。周知としましては10月1日の広報えどがわに掲載予定です。区民向けのチラシは来週くらいから関係機関に送付します。お配りしましたチラシのほうは皆様にも活用していただきたいので、医師会事務局から皆様の連絡先を提供していただき、データで送らせていただきます。

(小川委員長) 続いて想定人数についてお願いします。

(3) シンポジウム想定人数について

(本城) はい。前回お配りしたものとほぼ変わっておりませんが、想定人数を入れたものになります。区の方で各団体にお声かけを進めさせていただいております。連合町会・自治連合会では各会長向けということで、通知と参加のご依頼をかけさせていただいております。また、中心になってくる民生・児童委員の方々にも昨日会長会というものがあまして、民生委員さん区内15地区の通知と開催要項を配布いたしました。その他、くすのきクラブやふれあい訪問員など、地域支援ネットワーク会議に参加されている皆様なので、出来るだけご参加いただけるよう声かけをさせていただきます。健康部にもファミリーヘルス推進員の方へチラシを使って声かけをしていただけたらと思います。また、この会議体の各委員の方から、各関係団体へお声かけいただいた結果、人数が増えそうであれば、10月10日までにお手数ですが事業者調整係までご連絡をお願いします。詳細に関してはデータを皆様に送る際に記してお伝えしますので、それをご確認いただいてご連

絡をお願いします。想定人数に関しては以上になります。

(小川委員長) チラシに関してですが、会場が「グリーンパレス」となっていますが、「江戸川区グリーンパレス」にした方がわかり易くないですか？

(本城) 調べたところ、「グリーンパレス」という愛称だそうです。

(小川委員長) では「グリーンパレス」なんですね、色々なところにあるような名前なので。住所や電話番号は必要ではないですか？

(本城) 一般区民向けのチラシの場合には住所などを載せて配布します。

(小川委員長) はい。プログラムに関してはこの通りで、パネリストにお名前を入れさせていただき、今回は所属ではなく、各団体の方が来てらっしゃるという形にさせていただきました。私の方は区から医者かどうかが非常に重要だという話がありまして、訪問診療医と入れました。チラシに関しては以上です。少し話が遡りますが、在宅医療・介護連携研修の2月の安保先生から日程は入りましたか？

(事務局阿部) 現在、候補日を伺い中です。取り急ぎ、会場を押さえる都合で先に安保先生にご予定を伺っております。

(小川委員長) 安保先生と訪問看護ステーション連絡会の講師に予定を合わせてください。在宅医療の現場では仕事内容も含めて、どのように行なっているのか実際に知りたいと思います。その辺も含めてをお願いします。3月の私の方も今打診を受けている最中です。曜日は何曜日がいいとかありますか？

(内藤) 曜日については特にはありません。

(小川委員長) 3月の研修は認知症に関する基礎知識という形で、色々な話をしたいと思っています。或る資料で認知症に関して知りたいことのアンケートで、基礎知識や診断や治療など色々あったのですが、認知症と地域ケアの関わり、などは医師以外でも話せる内容なので、今回は医療研修ということで医学的なことから介護まで、基礎知識、診断、治療、医師とのアクセスなど、おおまかな部分に限らせて頂きたいと思います。

(本城) そうですね医学的なこともメインのテーマですので、基礎を入れていただき、残りの時間で実体験などをお話していただければと思います。

(小川委員長) 区としても医学的なものを盛り込む、という目的があるので、堅苦しくはなりますが、勉強ということでまとめさせていただきたいと思います。

(広瀬) ケアマネジャーさんにとっても全職種にとっても認知症は重要なテーマですので今後も研修会は続くと思います。それを踏まえて、年度ごとに内容を絞ることは

考えていますか？

(内藤) 年一回くらいは認知症の研修を行なっています。私たちの中でよくあるのが、ある程度学んでもう一步踏み込んで勉強したい方もいれば、それこそ往診医を紹介して欲しい、レベルの違う方もいらっしゃるのです。どこに焦点を絞るかという悩みがあります。初歩のレベルの方々を引き上げなきゃいけない、しかし中核になってくる方々はもっと知識欲があって、こちらに焦点を絞りたいけれども、初歩の方にはわからないと言われてしまうというジレンマを常に抱えています。

(小川委員長) そういったことも含めて今回は基礎知識に的を絞らせて下さい。実体験などはその中でプラスしてお話していこうかと思います。認知症に関して私が話し始めたのが平成18年なので、もう10年以上江戸川区でお話しています。皆さん本当に知識のバラつきはあります。今回はケアマネジャーをはじめ、介護関係の方々に認知症の基礎をちゃんと学ぶべきことは学んでもらいたい、という主旨でございます。では次の議題に移ります。

4. 在宅医療・介護連携に関する相談について

(本城) 「在宅医療・介護連携に関する相談について」という区からの配布資料です。区内19カ所の熟年相談室への調査結果をまとめた資料です。「認知症」、「入退院支援」、「ターミナル」、「支援困難」、「その他」の項目の中で、それぞれの相談内容の詳細をまとめました。熟年相談室（地域包括支援センター）では医療に関することも介護に関することも、事業者などから色々と相談を受けます。在宅医療や介護の中で、どんな相談があったかというのを独自に調査させていただきました。主なところでは入退院時の支援、ターミナルなどですが、ほかにも直接在宅医療介護というものは出てこないかもしれませんが、地域でどう支えていけばいいのかといった支援困難ケースについてなどが出ています。今後こういった課題を各団体から提供していただき、その中からまたテーマを決めて、次年度の研修に組み込んでいくかなど、年度後半のこの会議体で検討を進めていきたいと思います。今後話合うネタとしても使っていただきたい。共通言語、情報共有などしくみをどう作っていったらいいのか、各団体から上がってきたものの中で話し合いができたらと思っています。

(小川委員長) これは一つのテーマを決める材料になっていくとは思いますが、答え出してQ&Aにした方が早いかなとは思いますが。こういった相談のバックグラウンドに

なにがテーマとしてあるかなど、そういった視野で見たほうがいいと思います。
問題点を集約してテーマに変えていくかです。

(臼井) この配布資料は熟年相談室に向けて事業者調整係が調査をしたものです。熟年相談室は相談窓口として広く門戸を開いているので、ケアマネジャーからの相談も受けますし、病院からの相談も受けます。設問としては日頃各機関と連携している中でどのようなことを質問されますか？という質問に各熟年相談室で答えていただいたものです。簡単な問い合わせから大きなものまで色々な相談に乗っています。

(本城) 細かい報告になりますが、多かったのは認知症や入退院時支援とか、ここには直接書かれていないのですが、精神疾患の方がいらっしゃる複合世帯などにどう支援したらいいのかなどの相談も受けています。

(小川委員長) これは来年度のテーマですか？

(本城) いえ、今年度 11 月以降の区民向けシンポジウムが終わってから連携会議体内で話し合いをしていただけたらと思います。

(小川委員長) わかりました、これに関して皆様に担当して貰う部分は周知していただいて、11 月以降ご意見を聞く場にさせていただき、このテーマに関しては私がまた皆様に振っていきたいと思います。

◎次回開催は、平成 30 年 10 月 18 日（木）午後 1 時 30 分開催予定